

GLOBAL TIMES VOL.14

能勢高校SGH中間発表会・ドイツ視察報告会

11月1日(金)、令和元年度SGH中間発表会・ドイツ視察報告会を、第17回能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育研究発表会と併せて開催しました。『グローバル人材の育成』というテーマのもと、その第一部としてSGH中間発表およびドイツ視察報告を行いました。



最初に、3年スーパーグローバルスタディー(SGS)受講生4名と2年グローバルスタディー(GS)受講生1名が、8月に実施したマレーシアでの実態調査報告を英語と日本語で行いました。テーマは『経済発展と自然破壊～マレーシア オイルパームプランテーションと森林破壊～』です。次に、9月に関西テレビ「報道ランナー」で能勢分校生の取組みが特集された際のVTRを放映しました。番組タイトルは『バイオマスで町の活性化を 手つかずの森林利用 再生可能エネルギーに大阪の高校生が挑戦』です。

後半は、9月に能勢町と連携で実施したドイツ・フリロン市でのシュタットベルケ調査報告を行いました。同行した能勢町総務課の矢立さんの報告に続いて、視察に行った2年生4名が英語と日本語で発表しました。テーマは『能勢版シュタットベルケを考える～再生可能エネルギーと地方創生～』です。

最後に、町長をはじめお越しいただいた運営指導委員の方々、指導講師である大阪教育大学の乾先生より講評をいただきました。今回はマレーシアに加え、能勢町とのドイツ視察報告があり、盛り沢山の内容となりました。

2月の最終発表会に向け、今回の発表内容をさらに深め、能勢町の活性化へどう発展させていくかを考えていきます。ぜひ、ご期待ください。



上森能勢町長

● 講座と講師の紹介 ●

● SG基礎知識講座(3年) ● GS課題探究基礎講座(1・2年)

3年 5/27(月) 『先輩に学ぶ』 2年 6/3(月) 『実習生プレゼンテーション』

● 濱田 理生 さん(四天王寺大学4回生・能勢高校卒業生)

社会科の教育実習生として帰って来た先輩が、進路や将来についての話をしました。

1年 6/4(火) 『ビジネスプラングランプリにむけて』

● 石原 達志 さん(日本政策金融公庫 大阪創業支援センター所長)

高校生ビジネスプラングランプリへのエントリーに向けての講義でした。後日アドバイスをいただきながら、生徒それぞれが能勢町の活性化に的を絞ったビジネスプランを作成しました。

3年 6/10(月) 『インプロ体験』

● 月田 有香 さん(インプロファシリテーター)

即興、自発を柱とする演劇形式のインプロ(即興劇)を日常生活に取り入れ、自己表現力を高め、今後の受験や就職活動時などのコミュニケーション力が必要となる場面において、役立つ内容を学びました。

1年 6/11(火) 『能勢町にとってのSDGsとは』 ※第3回 能勢町地域連携公開講座

● 榎原 友樹 さん(株式会社E-konzal代表) 《前月号 vol.13に掲載》



2・3年 6/21 (金)、7/18 (木) 『ひとづくり・まちづくり 高校生に期待すること』

●**近江 正隆 さん** (株式会社ノースプロダクション代表) ※能勢町教育委員会・能勢高校共催

北海道十勝郡浦幌町から遠路お越しいただき、自らの体験を通して若者に一次産業の大切さを伝えることの意味、地方創生には高校生の力が必要であることなどを話していただきました。7月の公開ワークショップでは、町行政の方や保護者、地域の方々など、総勢 60 名近くの参加があり、今後の具体的な取組みにつながる議論をすることができました。



1・2年 7/2 (火) 『ドイツ視察に向けて シュタットベルケの取組み』 ※第4回 能勢町地域連携公開講座

●**川又 孝太郎 さん** (環境省環境計画課長、元在ドイツ日本国大使館参事官) 《前月号 vol.13 に掲載》

2年 7/10 (水) 『先輩に学ぶ～留学について』

●**齊藤 依乃里 さん** (能勢高校卒業生)

AFS を通して一年間マレーシアへ留学した経験をもとに、現地高校生との学生生活、ホームステイでの体験、多民族国家であるマレーシアで気づいたことなどを伝えてくれました。

1年 7/18 (木) 『国際理解 モンゴルについて』

●**今岡 良子 さん** (大阪大学准教授)

モンゴル国の成り立ちやモンゴルの牧畜業、ゲルでの生活、食生活など多岐に渡る内容についてお話しいただきました。本校文化祭での、モンゴルの羊毛を使ったマスコット作りをご指導いただき、売上金はモンゴルの施設へ寄付しました。



1年 9/3 (火) 『世界で活躍する“オイスカ”』

●**清水 利春 さん** (公益財団法人オイスカ 関西研修センター所長)

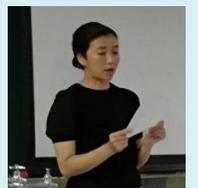
オイスカ関西研修センターでは、海外の若者が研修生として農業などの技術習得に励んでおり、それを支えるオイスカの役割について学びました。講演後、フィリピンからの研修生 4 名と交流し、本校文化祭では模擬店でフィリピンの伝統菓子“カモテ Q”を一緒に調理、販売しました。



3年 9/9 (月) 『旅が教えてくれること』

●**三上 順子 さん** (能勢農家民宿「みちくさ」オーナー)

バックパッカーとして世界中を旅し、ホームステイやファームステイをされていた経験をもとに、今回はスペインへ旅行された際のお話を中心に講義いただきました。



1年 10/3 (木) 『浄瑠璃の基本知識と実践』

●**松田 正弘 さん** (浄瑠璃シアター館長)

浄瑠璃人形の構造や動かし方、能勢町の浄瑠璃の歴史や背景について講義していただきました。

1年 10/24 (木) 『MSFイラクミッション報告』

●**佐藤 真史 さん** (看護師)

国境なき医師団 (MSF) の看護師として派遣されていたパレスチナのガザやイラクのモスルでの医療活動について、お話しいただきました。



1・2年 10/31 (木) 『体験！SDGs』

●**藤田 美保 さん** (NPO 法人 箕面こどもの森学園校長)

持続可能な開発目標 (SDGs) をわかりやすく体験するため、「2030SDGs」カードゲームを使って、持続可能な世界の成り立ちについて学びました。



●**3年SG重点分野講座** ●**2年プレ課題探究GS**

9/8 (日) 『森の中の講演会』

●**畠山 重篤 さん** (NGO「森は海の恋人」代表、京都大学特任教授)

能勢菊炭クラブの主催で、能勢町荒木谷の森の中で講演会が行われました。畠山さんは宮城県気仙沼市の牡蠣養殖家であり、漁場を守るには森を守ることが必要だと、植林活動を行っておられます。講演の最後には「能勢の森を大切にしてください」と、力強いメッセージをいただきました。

講演後、2・3年生がマレーシア実態調査、ドイツ視察調査の報告をしました。



9/11 (水) 『バイオマスの考え方と炭化技術の開発』

●山内 光貴 さん (大阪府教育庁インターンシップ生、
北海道大学農学部生物環境工学科3年生)

豊中高校とスムーズスペースをつなぎ、『バイオマスの考え方と炭化技術の開発』と題したプレゼンテーションを行っていただきました。

その後、2年生が「ドイツ シュタットベルケの視察及び能勢町版シュタットベルケ」について、発表しました。



校外活動と国際交流

■菊炭と里山を未来につなぐ植樹会 4月13日(土)

能勢町・荒木谷の里山にて開催された里山保全フィールドワーク「菊炭と里山を未来につなぐ植樹会」に参加しました。

このフィールドワークは、菊炭の里(大阪能勢田尻菊炭振興協議会)が主催しており、昨年に引き続きの参加となりました。今回はスタッフとして荒木谷に入り、参加者が来る前に植樹の準備を行いました。

■ピースマーケットのせ2019 5月26日(日)

浄るりシアターで開催された「ピースマーケットのせ2019」に参加しました。SGH活動のパネル展示に加え、モンゴルでの実態調査やシュタットベルケについて課題研究発表を行いました。その後、近隣市町村の市民団体の方々と再生可能エネルギーについて意見交換しました。

■大阪大学にてプレゼンテーション 7月16日(火)

大阪大学の講義に招かれ、研究発表とワークショップを行いました。モンゴルでの実態調査やシュタットベルケについて発表し、大学生と地方創生を中心にさまざまなトピックについてディスカッションを行いました。

■能勢町里山学習 8月29日(木)

目前に迫ったドイツ視察の事前学習として、学校近くの山林に入り、地主で森林組合役員でもある平岡さんから、能勢町の山林の状況や里山の保全状況について説明を受けました。

この日は関西テレビの取材(9/17放映)があり、生徒側から平岡さんにインタビューを行う様子が撮影されました。

■MSFイラクミッション報告 9月16日(月)

能勢にあるフェアトレードショップ&カフェ「エスペーロ能勢」にて開催された、国境なき医師団(MSF)の看護師である佐藤真史さんによる講演会に参加しました。日本のニュースでは知りえない、イラクの現状など生の声を聞く事ができました。

■公立鳥取環境大学 10月7日(月)

公立鳥取環境大学にある英語村へ入村し、午前中はオールイングリッシュで活動しました。午後は、中橋文夫教授より「世界のランドスケープ」についての講義を受け、生徒はマレーシア、ドイツの実態調査の発表を行い、アドバイスをいただきました。

■サラヤ㈱大阪工場訪問 10月15日(火)

3年生1名が研究発表の調査のためサラヤ㈱の大阪工場を訪問しました。マレーシアのパームオイルから液体洗剤や石鹸が作られ、パッキングされるまでの工程を見学しました。その後、担当の方とお話させていただきました。



■「能勢の高校を応援する会 “町ぐるみ応援団”」総会 10月26日（土）

浄るりシアター小ホールにて総会が開催されました。町内外から80名以上の参加があり、3年生は8月に実施したマレーシア海外実態調査報告、2年生は能勢町・能勢分校連携ドイツ視察報告を行いました。

ドイツ視察報告の前には、視察団団長の能勢町長から視察の目的や視察に至った経緯などのプレゼンテーションがあり、生徒発表がより分かりやすいものとなりました。また、SGH1期生の関西学院大学生である卒業生が、能勢高校でのSGH経験が大学生活でどう活かされているかを語ってくれました。後半では、能勢分校とともに歩む能勢町の将来を考える「未来フォーラム」のグループディスカッションが行われました。



■豊能町「とよのまつり」 11月9日（土）、10日（日）

豊能町で2日間にわたって開催された「第9回とよのまつり」文化展に、3年生のSG重点分野講座受講3名が参加し、本校のSGH・GSの取組みについて報告活動を行いました。多くの来場者があり、生徒の説明に熱心に耳を傾けていただきました。本校のSGH・GSについて知っていただく良い機会となりました。

その他にも、地元や各地域のイベントに参加しSGHの課研究発表活動を行いました。

☆10月5日（土）能勢高校文化祭 ☆11月2日（土）モンゴル秋まつり ☆11月22日（金）総合学科教育研究大会



文化祭



モンゴル秋まつり@韮公園

2019年 能勢高校・能勢分校に来た留学生

オスカー / ナダー / フセレン

今年度は長期留学生のオスカー（タイ）と短期留学生のフセレン（モンゴル）、ナダー（タイ）がAFSより派遣され、能勢高校・能勢分校で生徒と一緒に学びました。

能勢町の家庭でホームステイし、日本語ボランティアの方にご協力いただいて日本語学習にも取り組み、授業では自分の国について発表を行いました。また、小・中学校では英語活動に参加するなど、積極的に交流を楽しんでいました。文化の垣根を越えてお互いを認め合い、充実した日々を送ることができました！



スムーズスペース交流

豊中高校をはじめ、遠方の連携校とスムーズスペースをつなぎ、SGHの課題研究発表やディスカッションなどの交流活動を行っています。

▶宮崎県立飯野高校 7/10（水）、10/5（土）文化祭

お互いの住んでいる町や学校生活を紹介。文化祭では飯野からファッションショーが披露されました。宮崎弁と大阪弁で大いに盛り上がりました。

▶豊中高校 9/7（土）、9/11（水）

9/7は豊中高校の文化祭に参加し、豊中高校PTAに向けてプレゼンテーションをし、本校農場生産物の黒米やブドウジャムのチャリティー販売を行いました。

▶島根県立隠岐島前高校 7/8（月）、10/24（木）

『熱中・夢中の作り方』をテーマに白熱した議論を交わしました。



SGH研究発表会 2月15日（土）10:00～

場所：浄るりシアター 小ホール

1年間の成果を発表します ぜひお越しください！